



平成 27 年(2015 年) 9 月 30 日

湖南市長 谷 畑 英 吾 様

湖南市総合計画審議会
会 長 仁 連 孝 昭

第 2 次湖南市総合計画について (答申)

平成 26 年 10 月 16 日付、湖企第 81 号において湖南市総合計画審議会に諮問された「第 2 次湖南市総合計画の策定」について、当審議会では慎重に審議を重ねた結果、別添のとおりとりまとめましたので答申します。

なお、計画の策定および推進にあたっては、本答申の趣旨を十分に尊重され、「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向けて、別記事項に意見を添えて要請します。

別記

<まち将来像を実現するために — 市民との共有、着実な推進>

第二次湖南省総合計画は、湖南省のまちづくりにおいて最も根幹となる計画であり、各分野で策定している個別計画の指針となるものである。基本構想には、湖南省のまちの将来像と長期的なまちづくりの基本目標を掲げるだけでなく、重点的に進めるプロジェクトを3つのプランに取りまとめ、さらに市民と共有を図る工夫として、夢のある3つの“物語”に仕立て掲載している。

公的なサービスに対するニーズが多様化し、変化の速度も早まる中、行政だけでできることには限界があり、市民とともにまちづくりに取り組む必要性がますます高まっている。

「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向け、第二次湖南省総合計画が市民一人ひとりに届くよう、市民目線から様々な手段を用い、丁寧な周知を図りながら、地域まちづくり協議会などの多様な主体との協働により、着実に施策展開を図っていただきたい。

<人口減少対策の推進 — 魅力的なまちづくり>

基本構想の計画期間である今後10年の間にも、人口減少や少子高齢化はさらに進行し、その影響は、医療、福祉をはじめとする地域社会のあらゆる分野におよぶことになる。

雇用の拡大、多様な働き方の実現、結婚、出産、子育てに関する切れ目のない支援策を実施するなど、市民にとって魅力的で、豊かさを実感しながら暮らせる環境を整えることが、移住・定住の促進、大幅な人口減少の抑制につながるまちづくりであり、市民の満足度の向上、ふるさとへの愛着や誇りにもつながる。

今般、人口減少対策に関する総合的な計画として、第二次湖南省総合計画と同時に策定する湖南省まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施を通じ、これまで以上に積極的に暮らしやすいまちづくりに取り組んでいただきたい。

<湖南省らしい政策の推進 — 独創的なまちづくり>

地域の自然エネルギーの積極的な活用やアール・ブリュット作品を活用したまちづくりなど、湖南省独自の先進的な取り組みが定着し、市民共同発電所の取り組みや湖南工業団地におけるスマートエネルギーシステムの導入、または物産館整備による都市型農業モデルの構築など、さらなる発展を遂げようとしている。

既存の地域資源を活用する「あるものいかし」「湖南省らしさ、良さ」の視点に加え、未来志向で挑戦する都市として、地域の魅力をみんなで磨いたり、明るい未来につながる独創的なまちづくりを進めていただきたい。

また、同時にこれらの湖南省の魅力を積極的に市内外に向けて発信していただきたい。